平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名　日本化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4092　URL　http://www.nippon-chem.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 鈴木　義博
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 佐藤　学　TEL 03-3636-8038

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,320	△8.5	△553	―	△758	―	△843	―
24年3月期第2四半期	17,835	△19.5	△124	―	△289	―	△184	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△1,014百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△467百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△9.59	―
24年3月期第2四半期	△2.10	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	65,570	29,601	45.1
24年3月期	62,296	30,630	49.1

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　29,601百万円　24年3月期　30,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	3.00	―	0.00	3.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成25年3月期の期末配当予想額については、未定であります。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	1.4	0	―	△250	―	△500	―	△5.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	89,227,755 株	24年3月期	89,227,755 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,248,409 株	24年3月期	1,247,891 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	87,979,425 株	24年3月期2Q	87,980,454 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 平成25年3月期の期末配当予想額については、今後の業績動向をさらに見極める必要があり、現時点では未定であります。今後、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要の本格化を背景とした内需の伸びや各種の政策効果により緩やかな持ち直しの兆しがみられたものの、欧州政府債務危機を背景とした世界経済の減速懸念、円高基調の長期化、株価の変動など、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境下で当社は、成長市場・分野への集中とグローバリゼーションの強化に取り組んでまいりましたが、電子材料関連業界の不振、輸出環境の大幅な悪化等により収益は大きく落ち込みました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は163億2千万円（前年同期比15億1千4百万円減）となり、経常損失は7億5千8百万円（前年同期は経常損失2億8千9百万円）となりました。

この経常損失に事業再編損等の特別損失合計4億9千5百万円及び法人税等3千1百万円を加え、更に法人税等調整額4億4千2百万円等を計上した結果、四半期純損失は8億4千3百万円（前年同期は四半期純損失1億8千4百万円）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次の通りとなりました。

なお、当第２四半期連結会計期間より、情報の共有化を進め、今後の成長路線を再構築することを目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを「無機化学品事業」、「有機化学品事業」、「電材事業」及び「賃貸事業」の４区分から、「化学品事業」、「機能品事業」及び「賃貸事業」の３区分に変更しております。

①化学品事業

化学品事業では、クロム製品は鉄鋼・めっき業界向け出荷数量が減少し、また輸出が落ち込んだため、売上高は減少しました。燐製品は液晶・半導体業界の低迷の影響を受け、売上高は減少しました。シリカ製品は紙パルプ業界及び土木関連事業の受注が回復せず、売上高は減少しました。

②機能品事業

機能品事業では、農薬は予定していた出荷が下期にずれ込んだため、売上高は減少しました。ホスフィン及びその誘導体は半導体業界の落ち込みや期待していた新規用途が伸びず、売上高は減少しました。バリウム製品は液晶向け製品が伸び、売上高は増加しました。リチウムイオン電池用正極材料はスマートフォン向けに一部製品が堅調に推移したものの、売上高は減少しました。電子セラミック材料は電子材料部品の小型化や電子材料部品の不振により、売上高は減少しました。回路材料はスマートフォン向けが好調に推移し、売上高は増加しました。

③賃貸事業

賃貸事業については、堅調に推移しました。

④その他

空調関連事業では、需要の回復が鈍く、設計・施工業務が減少しました。書店事業については、堅調に推移しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32億7千4百万円増加し、純資産は10億2千8百万円減少しております。その結果、自己資本比率は49.1%から45.1%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が25億8百万円増加し、受取手形及び売掛金が11億4千万円減少し、原材料及び貯蔵品が2億3千3百万円増加し、繰延税金資産が4億3千5百万円増加しております。

固定資産では、有形固定資産が8億8千万円増加し、投資有価証券が3億1千9百万円減少しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が5億1百万円減少し、短期借入金が22億5百万円減少し、リース債務が6億5千万円増加しております。

固定負債では、長期借入金が37億4百万円減少し、リース債務が82億4千4百万円増加しております。

株主資本では、利益剰余金が8億4千3百万円減少しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が1億7千3百万円減少しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、7億6千万円の収入（前年同期比8億4千5百万円減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失12億5千4百万円に対し、非資金損益項目である減価償却費17億9千3百万円の他、売上債権の減少額10億9百万円、たな卸資産の増加額2億9百万円、仕入債務の減少額6億5千万円等、営業取引に係る資産負債の増減額を加減したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に設備投資により12億3千2百万円の支出（同4億5千9百万円減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、セール・アンド・リースバックによる収入89億円や長期借入金の返済による支出58億5千7百万円等があり、29億8千3百万円の収入（前年同期は11億4千2百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ25億8百万円増加し、72億7千1百万円となりました。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローと配当金を減算したフリーキャッシュ・フローは、4億7千3百万円の支出となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の第２四半期累計期間連結業績は、売上高は化学品事業の主要製品の出荷先である鉄鋼・めっき業界や液晶・半導体業界の低迷の影響を受けて減少しました。機能品事業も半導体業界の落ち込みや電子材料部品の不振により、売上高は減少しました。第３四半期以降においてもこうした要因による影響を少なからず受けると予想されることから、前回予想を下回る見通しであります。

また、当期純損益は、現在進行中の化学品事業の再編における旧西淀川工場の解体及び跡地整備に関する追加費用による特別損失の発生等の影響があり、前回予想を下回る見通しであります。平成24年３月期通期連結業績予想につきまして、売上高、営業損益、経常損益及び当期純損益を修正いたしました。

なお、平成24年11月６日付「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて別途同様の公表をしております。

平成24年５月11日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成25年３月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）（平成24年５月11日発表）	36,600	320	140	60	0.68
今回発表予想（B）	35,000	0	△250	△500	△5.68
増減額（B－A）	△1,600	△320	△390	△560	－
増減率（％）	△4.4	－	－	－	－
（参考）前期（平成24年３月）実績	34,519	△792	△1,049	△511	△5.82

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,788	7,296
受取手形及び売掛金	9,701	8,561
商品及び製品	4,231	4,389
仕掛品	2,547	2,363
原材料及び貯蔵品	2,612	2,846
繰延税金資産	1,170	1,605
その他	624	975
貸倒引当金	△18	△15
流動資産合計	25,658	28,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,097	31,220
減価償却累計額	△17,629	△17,872
建物及び構築物（純額）	13,467	13,348
機械装置及び運搬具	54,622	1,853
減価償却累計額	△46,197	△1,052
機械装置及び運搬具（純額）	8,425	800
土地	7,929	7,940
リース資産	49	8,949
減価償却累計額	△28	△33
リース資産（純額）	21	8,916
建設仮勘定	511	221
その他	5,949	6,062
減価償却累計額	△5,052	△5,156
その他（純額）	897	905
有形固定資産合計	31,252	32,132
無形固定資産	402	404
投資その他の資産		
投資有価証券	3,170	2,850
長期貸付金	353	366
繰延税金資産	39	41
その他	1,551	1,883
貸倒引当金	△132	△132
投資その他の資産合計	4,982	5,009
固定資産合計	36,637	37,546
資産合計	62,296	65,570

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,318	4,817
短期借入金	10,198	7,993
リース債務	10	660
未払法人税等	70	26
未払消費税等	67	40
賞与引当金	299	296
設備関係未払金	1,387	1,377
その他	3,240	3,803
流動負債合計	20,593	19,016
固定負債		
長期借入金	6,204	2,500
リース債務	11	8,255
繰延税金負債	2,339	2,255
退職給付引当金	1,465	1,433
その他	1,051	2,507
固定負債合計	11,072	16,952
負債合計	31,665	35,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,269	2,269
利益剰余金	22,542	21,698
自己株式	△349	△349
株主資本合計	30,219	29,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429	256
為替換算調整勘定	△32	△30
その他の包括利益累計額合計	397	226
少数株主持分	13	―
純資産合計	30,630	29,601
負債純資産合計	62,296	65,570

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	17,835	16,320
売上原価	15,048	14,147
売上総利益	2,786	2,173
販売費及び一般管理費	2,911	2,727
営業損失（△）	△124	△553
営業外収益		
受取利息及び配当金	40	46
その他	110	82
営業外収益合計	150	129
営業外費用		
支払利息	160	134
持分法による投資損失	6	6
その他	148	193
営業外費用合計	315	334
経常損失（△）	△289	△758
特別損失		
固定資産除却損	71	58
投資有価証券評価損	－	89
事業再編損	－	347
特別損失合計	71	495
税金等調整前四半期純損失（△）	△360	△1,254
法人税、住民税及び事業税	61	31
法人税等調整額	△239	△442
法人税等合計	△177	△410
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△183	△843
少数株主利益	1	0
四半期純損失（△）	△184	△843

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△183	△843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△276	△173
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	2
その他の包括利益合計	△284	△171
四半期包括利益	△467	△1,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△468	△1,015
少数株主に係る四半期包括利益	1	0

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△360	△1,254
減価償却費	1,950	1,793
負ののれん償却額	△11	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5	△2
賞与引当金の増減額（△は減少）	△28	△3
退職給付引当金の増減額（△は減少）	149	△32
受取利息及び受取配当金	△40	△46
持分法による投資損益（△は益）	6	6
支払利息	160	134
為替差損益（△は益）	2	2
固定資産除却損	71	58
事業再編損失	－	347
投資有価証券評価損益（△は益）	－	89
売上債権の増減額（△は増加）	88	1,009
たな卸資産の増減額（△は増加）	△726	△209
仕入債務の増減額（△は減少）	1,011	△650
未払消費税等の増減額（△は減少）	△71	△26
その他	△238	△302
小計	1,957	914
利息及び配当金の受取額	43	46
利息の支払額	△160	△133
法人税等の支払額	△234	△78
法人税等の還付額	－	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,605	760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,644	△1,131
有形固定資産の売却による収入	19	0
無形固定資産の取得による支出	△27	△45
投資有価証券の取得による支出	△2	△15
関係会社株式の取得による支出	－	△21
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	16	18
その他	△54	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,692	△1,232

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	195	△52
長期借入れによる収入	1,000	－
長期借入金の返済による支出	△2,156	△5,857
セール・アンド・リースバックによる収入	－	8,900
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5	△5
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△175	△1
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,142	2,983
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,231	2,508
現金及び現金同等物の期首残高	7,467	4,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,236	7,271

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,767	6,076	255	15,099	2,735	17,835	－	17,835
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	－	13	25	113	138	△138	－
計	8,779	6,076	269	15,124	2,849	17,973	△138	17,835
セグメント利益又は損失（△）	△153	△354	148	△359	226	△132	8	△124

（注）1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調関連事業及び書店事業等を含んでおります。
2.セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。
3.セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結計算書の営業損失（△）と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）
１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,141	5,501	256	13,898	2,422	16,320	－	16,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	－	13	27	109	137	△137	－
計	8,154	5,501	270	13,925	2,532	16,458	△137	16,320
セグメント利益又は損失（△）	△51	△681	153	△578	14	△564	10	△553

（注）1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調関連事業及び書店事業等を含んでおります。
2.セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。
3.セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結計算書の営業損失（△）と調整を行っております。

２.報告セグメントの変更等に関する情報
従来、「その他」に含めていた「賃貸事業」については、量的な重要性が増したため、前連結会計年度より報告セグメントとして記載する方法に変更しております。また、当第２四半期連結会計期間より、情報の共有化を進め、今後の成長路線を再構築することを目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを「無機化学品事業」、「有機化学品事業」、「電材事業」及び「賃貸事業」の４区分から、「化学品事業」、「機能品事業」及び「賃貸事業」の３区分に変更しております。
なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。